

令和 5 年 6 月 29 日現在

機関番号：32632

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2022

課題番号：16K02372

研究課題名(和文)日本文学における「怪異」研究の基盤構築と国際的展開

研究課題名(英文) Building a foundation and international expansion of "mysterious phenomenon" research in Japanese literature.

研究代表者

藤澤 秀幸 (Fujisawa, Hideyuki)

清泉女子大学・文学部・教授

研究者番号：20245939

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：日本文学における「怪異」の通史的考察をし、その成果として、2022年8月26日(金)13:00～16:30、清泉女子大学に於いて、清泉女子大学人文科学研究soとの共催による国際シンポジウム「日本文学における怪異 蘇生譚を中心に」を開催した。3名の日本の研究者と3名の韓国の研究者が研究発表をし、ディスカッションをした。

日本文学における「怪異」のデータベースを作成した。日本文学における「怪異」の「研究文献目録」を作成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本文学における「怪異」を研究することは、日本文化と日本人の精神の真髄を考察することになる。そこに学術的意義と社会的意義がある。日本文学における「怪異」の通史的考察は他にあまり例がないユニークな研究であるが、重要である。日本文学における「怪異」を、日本人の視点からだけでなく、国際的な視点からも考察することは、珍しい、重要である。3名の韓国の日本文学の研究者との共同研究は、他に例がない、大変独特な試みであった。日本文学における「怪異」のデータベースと「研究文献目録」の作成は、新たな日本文学研究を切り開くための基盤である。

研究成果の概要(英文)： We will conduct a comprehensive historical study of "mysterious phenomenon" in Japanese literature, and as a result, we will hold a joint event with Seisen Women's University Humanities Research Institute on Friday, August 26, 2022 from 13:00 to 16:30 at Seisen Women's University. We co-sponsored an international symposium titled "Oddities in Japanese Literature: Focusing on Stories of Reincarnation." Three Japanese researchers and three Korean researchers presented their research and had discussions.

We created a database of "mysterious phenomenon" in Japanese literature. We created a "research bibliography" of "mysterious phenomenon" in Japanese literature.

研究分野：日本文学

キーワード：日本文学 怪異 幻想 東アジア 韓国 死 救済 蘇生

1. 研究開始当初の背景

日本文学における「怪異」を、時代を越えて、通史的に研究することがまれであった。日本文学における「怪異」を、日本以外の国の日本文学研究者と共同して研究することもまれであった。日本文学における「怪異」のデータベースは、国際日本文化研究センター作成の「怪異・妖怪伝承データベース」や『西鶴と浮世草子研究 Vol. 』付録 CD「怪異物挿絵大全」に限られていた。

2. 研究の目的

本研究は、日本文学における「怪異」の研究を、時代・ジャンルを越えた総合的な視野からまとめ直し、新たな日本文学研究を切り開くための基盤を作ることを目的としている。具体的には、データベース・研究文献目録を作成し、「怪異」に関わる情報を整理・統合するとともに、文学に見られる「怪異」の話型や素材を整理する。これらの作業によって、「怪異」の視点から日本文学全体を見通すための足場を構築することができるであろう。また、中古から中世・近世を経て近代に至る日本文学における「怪異」の通史的考察も本研究の目的である。それをさらに敷衍させれば、日本人の精神史の一側面を明らかにすることに繋がっていくであろう。さらに、日本文学における「怪異」を研究することは、日本文化を照射することにも繋がる。他分野との連携のみならず、学際的且つ国際的な研究の進展に寄与することになるであろう。

3. 研究の方法

資料・データに基づき、客観的に研究を行う。通史的な視点と国際的な視点を意識して研究する。

4. 研究成果

2017年5月に笠間書院から『日韓怪異論 死と救済の物語を読み解く』を出版した。研究メンバーの藤澤秀幸・佐伯孝弘・姫野敦子・藤井由紀子の論文4篇、研究メンバーでない日本の研究者の論文1篇、韓国の研究者の論文(日本語訳)5篇、計10篇の論文を収録している。執筆者と論文題目は以下の通りである。

藤井由紀子「「火車」を見る者たち 平安・鎌倉期往生説話の 死と救済」
藤本勝義「『源氏物語』における死と救済」
姫野敦子「中世文学における死と救済 能「鶴」をめぐる」
佐伯孝弘「死なせぬ復讐譚 『万の文反古』巻三の三「代筆は浮世の闇」を巡って」
藤澤秀幸「幸田露伴・泉鏡花における「死」と「救済」」
沈致烈「朝鮮王朝小説における死と救済の相関性 「淑英娘子伝」を中心に」
金基珩「「水陸齋」における死の様相と儀礼の構造的な特徴」
姜祥淳「朝鮮王朝社会における儒教的転換と死生観の変化」
金貞淑「朝鮮王朝時代のあの世体験談の死と還生の理念性」
高永爛「朝鮮王朝後期の韓国古小説に見える女性の死と救済」

日本文学における「怪異」を通史的に研究し、その成果として、2022年8月26日(金)13:00~16:30、清泉女子大学に於いて、清泉女子大学人文科学研究所との共催による国際シンポジウム「日本文学における怪異 蘇生譚を中心に」を開催した。3名の日本の研究者と3名の韓国の研究者が研究発表をし、ディスカッションをした。研究発表は以下の通りである。

藤井由紀子「物語史における蘇生譚のゆくえ 『浅茅が露』を中心に」
姫野敦子「中世文学における蘇生譚 地獄巡りからの逸脱」
金慧珍「『伽婢子』の幽霊女房譚における怪異 「蘇り」の観点から」
佐伯孝弘「近世前期怪異小説における蘇生譚の諸相」
片龍雨「日韓古典芸能における蘇生の意味」
高永爛「朝鮮王朝後期と江戸時代の蘇生譚」

日本文学における「怪異」のデータベースを作成した。日本文学における「怪異」の「研究文献目録」を作成した。これは、新たな日本文学研究を切り開くための基盤になる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 佐伯孝弘	4. 巻 67巻10号
2. 論文標題 多田南嶺『世間母親容気』論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 12～22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐伯孝弘	4. 巻 52
2. 論文標題 日本人の靈魂観 近世怪異譚理解の前提として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本学研究	6. 最初と最後の頁 27-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 姫野敦子	4. 巻 85-2
2. 論文標題 音阿弥と「小歌舞」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観世	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 姫野敦子	4. 巻 56号
2. 論文標題 天理教『みかぐらうた』の一伝本について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本歌謡研究	6. 最初と最後の頁 71-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 4件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 姫野敦子
2. 発表標題 「隆達節歌謡」伝本の多様性について
3. 学会等名 日本歌謡学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤井由紀子
2. 発表標題 地震の 記憶 平安文学における天変地異
3. 学会等名 ルーヴェン・カトリック大学Japanese Studies Satsuma Konishi Chair Special Lecture（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 姫野敦子
2. 発表標題 中世小歌集『閑吟集』の配列意識 能「籠太鼓」を媒介にして
3. 学会等名 韓国日本語文学会第51回国際学術学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐伯孝弘
2. 発表標題 日本人の靈魂観 近世怪異譚理解の前提として
3. 学会等名 檀国大学校日本研究所、韓国研究財団共同研究事業（招待講演）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 佐伯孝弘 他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 236
3. 書名 日本文学の見取り図	

1. 著者名 藤井由紀子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 武蔵野書院	5. 総ページ数 284
3. 書名 異貌の『源氏物語』	

1. 著者名 佐伯孝弘 他 5 3 名	4. 発行年 2021年
2. 出版社 武蔵野書院	5. 総ページ数 720
3. 書名 源氏物語を開く	

1. 著者名 佐伯孝弘 他 3 名	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 238
3. 書名 古典文学の常識を疑う	

1. 著者名 清泉女子大学「日本文学と怪異」研究会	4. 発行年 2017年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 194
3. 書名 日韓怪異論 死と救済の物語を読み解く	

1. 著者名 一柳廣孝、飯倉義之、横山泰子、佐伯孝弘、鈴木 彩	4. 発行年 2016年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 288
3. 書名 怪異の時空 2 怪異を魅せる	

1. 著者名 松尾葦江、伊東玉美、吉野朋美、姫野敦子、山中玲子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 336
3. 書名 ともに読む古典 中世文学編	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐伯 孝弘 (Saeki Takahiro) (40255956)	清泉女子大学・文学部・教授 (32632)	
研究分担者	姫野 敦子 (Himeno Atsuko) (90334268)	清泉女子大学・文学部・准教授 (32632)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	藤井 由紀子（青谷由紀子） (Fujii Yukiko) (70551943)	清泉女子大学・文学部・教授 (32632)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			